

入院治療計画書②

ECIRS(経皮・経尿道同時内視鏡手術)

ID: 患者ID

新規作成日: 新規作成日

氏名: 氏名

日付			
経過	1日前	当日術前	当日術後
目標	転倒転落なく安全に過ごすことができる 手術について理解できる 入院生活について理解できる	安全に手術が受けられる	術後の経過に問題はない 術後せん妄の症状がでない
注射		9時30分以降の手術の場合は病棟で点滴を開始します	点滴があります 手術室から戻ってから6時間後に抗菌薬を投与します
投薬	薬剤師が普段内服している薬の確認と入院中に使用する薬の説明をします	薬の種類によって朝少量の水で内服することがあります	内服薬の再開は看護師が伝えます
検査		手術後に採血 結石検査(検査結果は外来で説明します)	採血
放射線		X線透視 手術中	腹部X線撮影 午後
処置	手術前に着用する弾性ストッキングのサイズを測定し準備します 左右どちらかの手術の場合は、腕に印をつけます	血栓予防ため弾性ストッキングを着用します	・翌日の朝まで心電図モニターを装着します ・必要時、酸素吸入を開始します
食事	食事は夕食まで、水分は24時まで、それ以降は絶飲食です 状況によって飲水時間がのびる場合があります	飲んだり食べたりする事はできません	手術後うがいはできますが、飲んだり食べたりする事はできません 朝食から開始です(手術前と同じ食事です) 水分制限がない場合は、1L以上飲水しましょう
清潔	16時まで入浴できます 時間は看護師と相談してください	朝、洗面をお願いします 入れ歯は外し、水を入れたコップに入れておきましょう	午前中に身体を拭き替えます
排泄		手術室で尿管を入れます 術後背中にも管が入ります	・午前中に尿管を抜きます ・排尿状況、尿量を確認します ・尿量測定方法は看護師がお伝えます
安静度	制限はありません		ベット上安静です 起き上がることはできませんが、寝返りをうつことはできます 術後6時間を目安に起き上がることができず、その際は看護師がお伝えます
リハビリ	リハビリテーションの予定はありません		
看護ケア	入院時、寝る前 (検温では体温、血圧、脈拍などを測定します)	検温 起床後、手術室に行く前	検温 帰室後、30分後、1時間後、2時間後、6時間後、18時、22時
確認事項	転倒転落予防のためベッドの高さ調整や周囲の環境を整えます		
指導	<ul style="list-style-type: none"> 入院時身長と体重を測ります 入院生活で気をつけていただきたい事や入院中のながれについて説明します 腕にネームバンドをつけます 手術室に持参する物品を確認します 歯科にかかる場合があります 	<ul style="list-style-type: none"> 眼鏡、貴金属類は外してください 貴重品は家族に預けましょう 家族の方は手術中病棟で待機していただきます 	<ul style="list-style-type: none"> 医師が手術経過を説明します 痛みは気分が悪い、辛い事などありましたら看護師にいらせてください
			<ul style="list-style-type: none"> 口腔内の確認をするために歯科にかかる場合があります(平日) 背中からの管(腎瘻)は抜けやすいため注意が必要です。管を曲げたり、つぶしたり、ひっかけたりしないでください 蓄尿袋は膀胱より上にならないようにしてください 痛みが強い時、血尿が濃い時は看護師に知らせてください 尿管抜去後は尿をコップにとって測ります はじめの尿は尿器にとり看護師に見せてください 一時的に尿が出にくくなることや血尿がでることがあります 尿の中に血のかたまりが出る場合がありますが問題はありません 尿が出にくいとき、でないとき、痛みが強い時、血尿が濃い時は看護師に知らせてください

入院治療計画書②

ECIRS(経皮・経尿道同時内視鏡手術)

ID: 患者ID

新規作成日: 新規作成日

氏名: 氏名

日付						
経過	2日後		3日後		4日後	
経過	5日後		6日後			
目標	転倒転落なく安全に過ごすことができる					
目標	排尿障害の症状がない 背中の管の管理ができる せん妄の症状がない		排尿障害の症状がない 背中の管の管理ができる		排尿障害の症状がない	
注射	点滴がありません 朝と寝る前に抗菌薬の点滴を行います					
投薬						
検査						
放射線						
処置	 背中の管に栓をして止めます 熱が出たとき、痛みが出たときは看護師に伝えてください 背中の管を抜かずに退院する場合は、自宅での管理方法について説明します		 回診時に背中の管を抜き、抜いた所はガーゼで保護します 腎瘻抜いた所に当てたガーゼが濡れた場合はガーゼを交換します 状況によっては抜かない場合があります		 回診時に背中の管を抜いた所の確認をします	
食事	飲水制限がない場合は尿路感染を予防するため、1日に1~1.5Lを目安に飲んでください  1~1.5L以上					
清潔	 体拭きを行います		 シャワー浴が可能です		 シャワー浴が可能です 退院翌日からは入浴できます	
排泄						
安静度	 制限はありません				制限はありません 急に腹圧をかける運動や腰をひねる運動は次回外来までは控えてください	
リハビリ	リハビリテーションの予定はありません					
看護ケア	 検温 午前中、午後、寝る前		 検温 午前中、寝る前		 検温 起床後	
確認事項	転倒転落予防のためベッドの高さ調整や周囲の環境を整えます					
指導	背中からの管を入れたまま退院する場合は、管理方法について説明します 背中からの管の挿入期間は手術の状況や発熱状況によって変わります				<ul style="list-style-type: none"> 退院時の状況に合わせて薬を処方する場合があります 看護師から退院後の生活について説明します 次回外来受診日、時間、会計を含めた退院方法の説明をします 安心して退院できる様に気がかかる事などありましたらおたずねください 	